

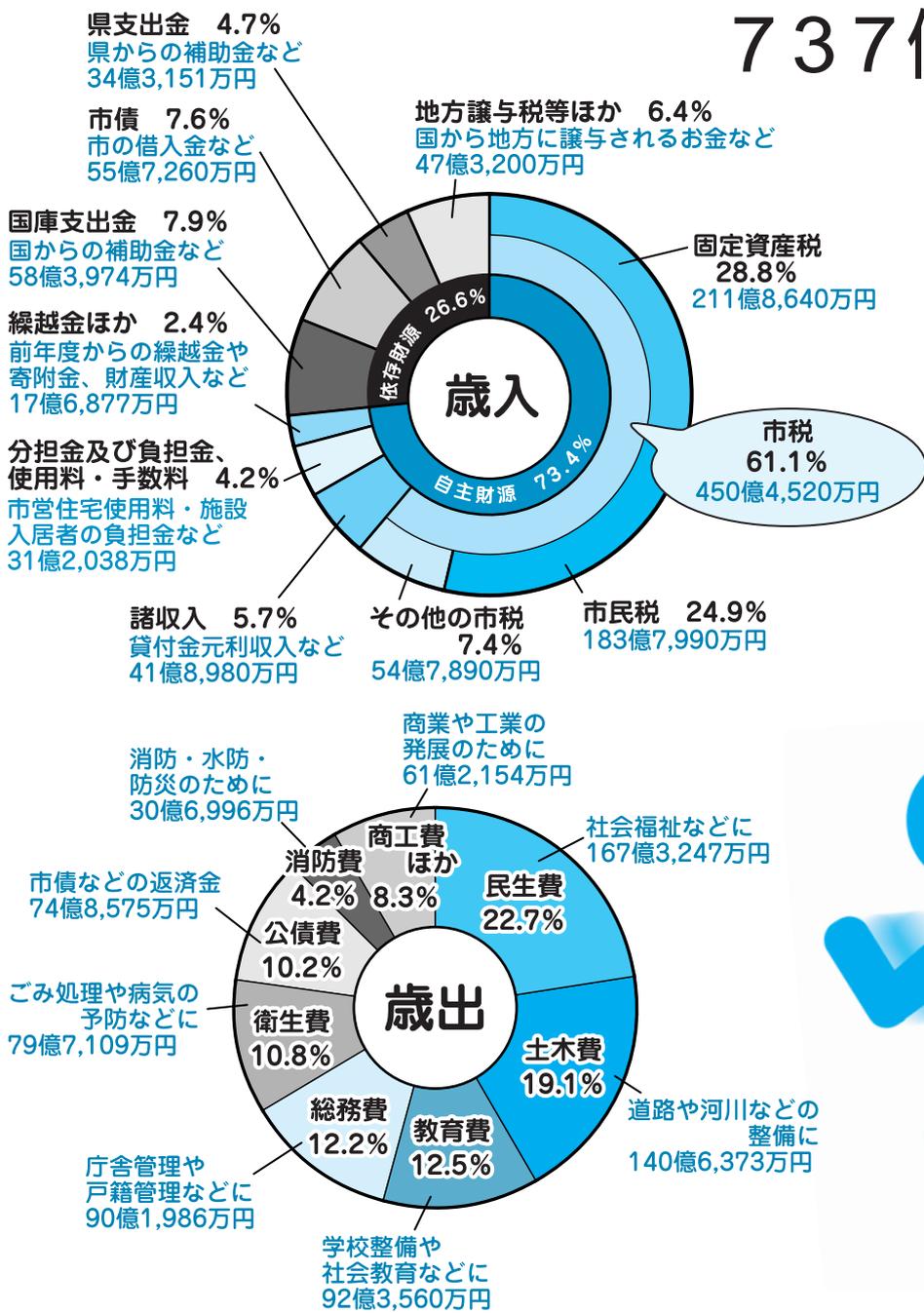
# 元気実感ダッシュ！予算

## 一般会計

# 737億円

市税を主な財源として、道路・福祉・教育など、行政の基本的な事業をまかなう会計

過去最大の予算規模となった、富士市の平成19年度当初予算を紹介します。



<p>国庫支出金 2万3,960円</p>	<p>市たばこ税 6,770円</p>	<p>固定資産税 8万6,925円</p>	<p><b>歳入</b></p> <p>主なものは?</p>
<p>市債 2万2,864円</p>	<p>軽自動車税 1,512円</p>	<p>市民税 7万5,411円</p>	



市民1人当たりの金額は、平成19年3月1日現在の人口24万3,731人をもとに計算しています。

予算のポイント

1

過去最大の予算規模

平成19年度の一般会計予算は、前年度より29億円ふえ、737億円となりました。

企業会計を含めた各会計予算の合計も、前年度に比べ約36億円、2.5%の増加となりました。

平成19年度の予算は、活力あふれる産業都市再生に向けた基盤づくりや、少子高齢社会における市民生活の充実と安全・安心な社会づくりを推進する事業に重点を置きました。

予算のポイント

2

歳入の約6割は市税

平成19年度の一般会計予算の歳入に占める、市の自前の財源（自主財源）は約73.4%。市税や公共施設の使用料、住民票などの発行手数料などがこれに当たります。

歳入の約6割は、市民や企業の皆さんが納める市税です。平成19年度は税源移譲に伴う住民税率の変更などにより、前年度に比べ、約29億8000万円の増加を見込んでいます。富士市は自主財源比率が高く、自立度が高い自治体だと言えます。

予算のポイント

3

借金の少なさ、県内第2位

国や銀行などから長期にわたってお金を借りる市債は、将来にわたって利用される道路や建物などの整備資金を将来世代の人たちにも公平に負担してもらいものです。平成19年度は、大型施設の建設に伴い、約9億5000万円ふえました。

平成17年度決算の市債額を市民1人当たりに換算し、県内23市と比較すると、富士市は金額が少ない方から数えて第2位です。富士市は借金（市債）が少なく、健全な自治体だと言えます。

特別会計

市が特定の事業を行う場合や特定の収入で特定の事業に充てる場合に設けられる会計

570億5,462万円

富士市には14の特別会計があります。

ただし、表中では内山特別会計ほか、3つの会計（旧今泉・一色・神戸・今宮、須津山、旧原田）を省略しています。

特別会計名	予算額
国民健康保険事業	218億円
老人保健医療事業	148億6,000万円
介護保険事業	102億4,200万円
下水道事業	82億8,600万円
新富士駅南地区土地区画整理事業	6億5,100万円
墓園事業	4億2,500万円
地方卸売市場事業	1億5,500万円
第二東名IC周辺地区土地区画整理事業	1億1,700万円
駐車場事業	7,800万円
公共用地先行取得事業	2,062万円

企業会計

独立採算を原則とする事業に設けられた会計

168億 229万円

病院事業 124億6,772万円

市立中央病院は、市民の皆さんによりよい医療を安全に提供し、医療の向上に努めていきます。



水道事業 43億3,457万円

上水道の安定的な給水に向け、第7期拡張事業に基づく管網整備や、簡易水道の統合などを進めます。



問い合わせ

財政課

☎(55)27255

☎(51)1479

✉ zaisei@div.city.fuji.shizuoka.jp

🌐 http://fuji.shizuoka.jp/cityhall/

zaisei-b/zaisei/

歳

出

総務費  
3万7,007円



衛生費  
3万2,704円



土木費  
5万7,702円



消防費  
1万2,596円



公債費  
3万 713円



教育費  
3万7,893円



民生費  
6万8,651円

